

THE 'LONGINES' WORLD'S BEST RACEHORSE RANKINGS

(for 3yos and upwards which raced between 1st December 2012 and 4th August 2013)

The official listing of the world's best racehorses
(covering the period 1st December 2012 to 4th August 2013)

今年引退したオーストラリア最強牝馬**ブラックキャビア(130)**が昨年の米年度代表馬の**ワイズダン(129)**を抑え、最新版ワールドベストレースホースランキングでもトップに立っている。

独調教4歳馬**ノヴェリスト(128)**がヨーロッパのランキングでトップに立った。同馬はキングジョージ6世&クイーンエリザベス S(G1)では、愛ダービー優勝馬**トレーディングレザー(120)**に5馬身差をつけ圧勝、この評価を得た。

ヨーロッパにおける順位で**ノヴェリスト**に続くのが、**トロナド(126)**と**ドーンアプローチ(125)**のマイル部門の2頭である。この2頭はサセックス S(G1)で再度対戦、この時は3度目の対戦で**トロナド**が**ドーンアプローチ**を初めて降した。3着には**デクラレーションオブウォー(120)**が入っている。

フランスのドーヴィルでは、仏調教牝馬**ムーンライトクラウド(121)**が、スプリント部門で複数のG1勝ちを収めている**リーサルフォース (121)**相手にモーリスドゲスト賞(G1)を快勝、同競走の3連覇を成し遂げた。ヨーロッパの牝馬部門のトップである同馬は、アメリカの牝馬で、**デラウェア H(G1)**を圧勝しベストのレーティングを再び得た**ロイヤルデルタ(121)**と並び、世界的にも**ブラックキャビア**に次いで牝馬部門で第2位となっている。

北米3歳部門では、トッド・プレッチャー調教師が管理する**ヴェラザノ(121)**はケンタッキーダービー(G1)では残念な結果であったが、そこから立て直し、ハスケル招待(G1)では圧巻のパフォーマンスを見せた。これにより北米3歳部門ではケンタッキーダービー優勝馬**オーブ(121)**と並ぶこととなった。